

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名			コード			予算科目			会計			款			項			目			事業種別		
23720 飼料用米等流通加速化事業									一般			6			1			3			☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業		
基本施策			1			農水産業の振興			根拠法令			飼料用米・加工用米等流通加速化事業補助金交付要綱											
施策の展開			2			安定した農業経営の推進			戦略事業			13 水田農業構造改革推進事業											
施策の展開									戦略事業														

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 23 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	食料自給力の向上と農家の多面的機能を維持することを目的とする。 飼料用米、米粉用米及び加工用米を6ha以上作付し、かつ1ha以上の拡大を図る農業者、営農集団、農地所有適格法人等に施設設備の設置に要する経費(フレキシブルコンテナバック用計量ユニット、籾乾燥機、前記に付帯する軽微な作業舎の改造、改築、電気等付帯工事)に対し、1/3以内の助成を行う。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
「飼料用米等流通加速化事業」として加工用米を対象外とした同等の内容にて平成23年度より実施している。平成26年度より「飼料用米・加工用米等流通加速化事業」として現在に至る。	近年の飼料用米推進活動により、作付面積が増加し、事業対象者が増加した。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
要望から内示まで時間がかかるため、作付の計画が困難である。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円
1.負担金補助及び交付金	2,000	飼料用米・加工用米等流通加速化事業補助金
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	2,000	飼料用米・加工用米等流通加速化事業費補助金
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
事業費	1.負担金補助及び交付金	千円	0	0	1,396	2,000	387
		千円					
		千円					
		千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	1,396	2,000	387
財源	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円			1,396	2,000	387
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	0	0	0	0	0

前年度増減理由	申請者数の増加
---------	---------

従事職員数	常時	2人	最大	2人	×	12日	=	延べ	24人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	-----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動) 計画の作成支援 補助金の交付事務		ア 申請件数	件	0	0	1	3	1
			イ						

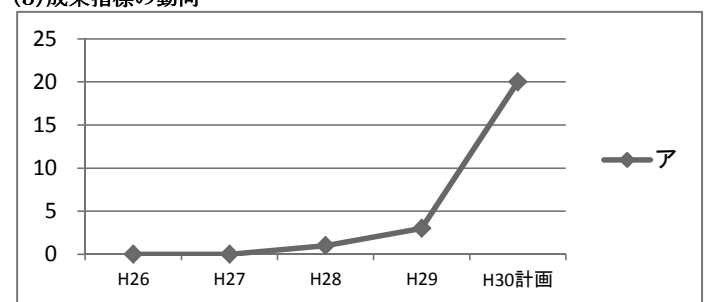
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	対象 飼料用米、米粉用米及び加工用米を6ha以上作付し、かつ1haの拡大を図る農業者、営農集団、農地所有適格法人等 意図 飼料用米等取組の拡大 対象意図		ア 補助事業対象者件数	件	0	0	1	3	20
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい		②	
	普通			
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価優先度	①			
	②	(2)		
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					25年度 26年度 26年度 27年度 27年度 28年度 28年度 29年度 29年度 30計画 30計画
						ア 0 0 1 2 17 イ
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
	年度内	計画の作成支援 補助金の交付事務			県単独補助事業のため、3年毎に見直しをされるが、今後も事業は継続される見込みである。(詳細については不明)	